

NetCOBOL for Windows V8.0

NetCOBOL マニュアル

COBOLで記述したプログラムの開発から実行までに必要な情報を、以下のマニュアルで説明しています。COBOLをご使用になる場合の基本事項を記載していますので、ご一読の上、適宜ご参照ください。

- [COBOL 文法書](#)

COBOLでプログラムを作成するための規則(文法)を説明しています。COBOLプログラムの作成者は、正しいコーディングをするために、取り扱うデータの定義や実行する文について、本書を参照してください。

- [NetCOBOL 使用手引書](#)

COBOLで記述したプログラムから実行形式ファイルを作成する方法、プログラムの実行やデバッグ方法、COBOLファイルの扱いおよび印刷に関する設定方法などを説明しています。COBOLプログラムの作成者または利用者は、プログラムを正常に動作させるために、各種設定方法や取り扱いについて、本書を参照してください。

- [NetCOBOL 例題プログラム](#)

本製品は、各機能の使用方法およびCOBOLプログラムの作成方法について具体的に解説するために、サンプルプログラムを添付しています。サンプルプログラムの解説および実行方法については、本書を参照してください。

- NetCOBOL Webマニュアル

COBOLでWebアプリケーションを作成する場合に、以下のマニュアルを参照してください。

- [NetCOBOL Web連携ガイド](#)

COBOLがサポートするWeb連携機能および、各種WWWサーバの特徴について概要を説明しています。はじめに参照してください。

- [COBOL Webサブルーチン使用手引書](#)

サブルーチンを使用したWebアプリケーションを作成、実行およびデバッグする場合に参照してください。

- [COBOL ファイルアクセスルーチン使用手引書](#)

COBOLファイルをC言語のアプリケーションから操作する場合に参照してください。

- [NetCOBOL メッセージ説明書](#)

NetCOBOLが出力するメッセージについて説明しています。

- [OSIV分散開発の手引き](#)

OSIV系システムのアプリケーションをWindows系システム上で開発する場合に参照してください。

- [UNIX分散開発の手引き](#)

UNIX系システムのアプリケーションをWindows系システム上で開発する場合に参照してください。

機能追加一覧

ホスト固有機能互換	<p>デッドロック出口機能 データベース連携時のデッドロック発生時の処理をCOBOLプログラムで簡単に記述できるようになりました。</p> <p>◆COBOL文法書 “6. 4. 53 USE FOR DEAD-LOCK文”</p> <p>◆NetCOBOL 使用手引書 “21. 14 デッドロック出口” “H. 1. 6 デッドロック出口スケジュールサブルーチン”</p>
	<p>任意日付取得機能 COBOLアプリケーションで取得する日付に、任意の日付を指定することができるようになりました。</p> <p>◆NetCOBOL 使用手引書 “5. 4. 1. 11 @CBR_JOBDATE(任意の日付を取得)” “11. 1. 7 任意の日付の入力” “D. 3 CURRENT-DATE関数を利用した西暦の取得”</p>
	<p>ファイル連結/追加書き機能 これまでバッチアプリを起動する前に手動操作していたファイルの連結や追加書きが自動的に実施できるようになりました。</p> <p>◆NetCOBOL 使用手引書 “7. 7. 5 ファイル追加書き” “7. 7. 6 ファイルの連結”</p>
Micro Focus 固有機能	<p>ADVANCING付きのWRITE文が順ファイルにも指定できるようになり、Micro Focus社のCOBOLからの移行がしやすくなりました。</p> <p>◆COBOL文法書 “6. 4. 54 WRITE文(順ファイル)”</p>
他言語連携	<p>C言語とのデータ共有 COBOLプログラムの外部データ項目とC言語プログラムの外部変数との間で、同じ名前のデータを共用させることができるようになりました。</p> <p>◆COBOL文法書 “5. 4. 3 EXTERNAL句”</p> <p>◆NetCOBOL 使用手引書 “10. 3. 4 C言語プログラムとのデータの共用”</p>
デバッグ機能	<p>データエリアに関するリスト出力 MAPオプションを指定することにより、データエリアに関する情報をリスト出力できるようになりました。</p> <p>◆NetCOBOL 使用手引書 “3. 2. 2. 6 データエリアに関するリスト” “A. 2. 28 MAP (データマップリスト、プログラム制御情報リストおよびセクションサイズリストの出力の可否)”</p> <p>◇関連記事 ◆NetCOBOL 使用手引書 “5. 9 注意事項” の“COBOLプログラムの実行時にスタックオーバーフローが発生する場合” “18. 7 翻訳リストを使ったデバッグ”</p>

実行時メッセージ	<p>実行時メッセージの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COBOLプログラムの行番号を添えた実行時メッセージの出力により、エラーの検出箇所がわかりやすくなりました。 ・実行時メッセージを出力する重大度の指定が可能になり、運用環境に合わせたメッセージ出力を実現できるようになりました。 <p>◆NetCOBOL 使用手引書</p> <p>“5. 4. 1. 14 @CBR_MESS_LEVEL_CONSOLE (実行時メッセージの重大度指定)”</p> <p>“5. 4. 1. 15 @CBR_MESS_LEVEL_EVENTLOG (実行時メッセージの重大度指定)”</p> <p>“F. 3 実行時メッセージ”</p>
COBOL Webサブルーチン	<p>サニタイジング(置換えによる無害化)処理をサポートし、WebアプリケーションのXSS(クロスサイトスクリプティング)脆弱性に対応できるようになりました。</p> <p>◆COBOL Webサブルーチン 使用手引書</p> <p>“7. 2. 2. 3 処理結果の出力”</p>